

# 2019年 北海道体育大会

## 第74回国民体育大会 新体操 北海道選手選考会開催要項

- 1 主催 (公財)日本スポーツ協会 (公財)北海道スポーツ協会  
2 後援 スポーツ庁 北海道  
3 協賛 (公財)JKA  
4 主管 北海道体操連盟  
5 会場 道立野幌総合運動公園体育館 (〒069-0832江別市西野幌481 TEL011-384-2166)  
6 日程 2019年7月26日(金)～28日(日)

7月26日(金) 7月27日(土) 7月28日(日)  
17:00～監督会議 10:00～開始式 14:30～団体競技開始  
17:30～セッティング 11:30～個人競技開始 16:30～閉会式

※ 参加人数等により競技日程全体に変更がありますので、申込後調整し連絡いたします。

※ 器具セッティング・カッティングは、参加選手で行いますのでご協力願います。

### 7 参加資格

- (1) 本年度の選手登録手続きを完了し、本大会参加料を期日までに納入した者。  
(2) 新体操高校女子選手のみとし、参加制限はしない。

### 8 競技方法および手具

- (1) チームは、学校単位もしくは混成チームとし、1チームは監督1名、選手5名をもって構成し、5名のうち4名は個人に出場しなければならない。他にチームリーダー1名、音楽係1名、予備登録選手2名を認める。但し、予備登録選手は申込書に明記された者でなければ交代できない。その交代は監督主将会議で行う。  
(2) 団体競技(フープ3・クラブ4)、個人競技(フープ・ボール・クラブ・リボンを各1名ずつ実施する。)  
(3) 団体5名中の個人出場以外の選手・予備登録選手は個人の種目1種目を実施することができる。ただし国体予選の点数に入らない。  
(4) 手具については、日本体操協会検定品を使用すること。手具点検については、必要に応じて行う。

### 9 競技規則

- (1) 2017～2020年版(公財)日本体操協会競技規則・採点規則シニアルール及び高校適用規則を適用する(日体協HP確認事項を含む)。

### 10 表彰

- (1) 1位には、優勝杯、遠藤忠杯、賞状、2位～6位には賞状を授与する。1～3位についてはそのメンバーにも賞状を授与する。  
(2) 成績順位は、団体競技の得点及び個人競技の得点(4種目4競技×1/4)の合計により決定する。

### 11 選手選考方法

- (1) 競技終了後選考理事会において、第74回国民体育大会に派遣する選手を選考する。  
(2) 選考理事会で検討の結果、フルエントリーしないこともある。

### 12 申込方法

- (1) 所定の申込書に必要事項を記入し、期限までに下記申込先までメールで送信すること。同時に所属長が押印した正式申込書・参加承諾書を郵送すること。

※ 申込書等の必要書類は北海道体操連盟のホームページにありますのでダウンロードして使用してください。

- (2) 必ず所属学校長の承認を受け申し込むこと(学校長の承認印が必要)。

- (3) 申込先・締切期日

2019年6月7日(金) 必着 〒064-0916 札幌市中央区南16条西6丁目2-1 静修高校 小倉 正恵 宛  
e-mail [m.ogura@sapporoseishu.ed.jp](mailto:m.ogura@sapporoseishu.ed.jp)

- (4) 大会参加料一人4,300円は、大会当日本部に納入のこと。(参加料には、日本スポーツ協会の指示により、傷害保険料1,000円が含まれている)

- (5) 申込者は、棄権・不参加に関わらず参加料を納入すること。

- (6) 日本スポーツ協会では、予選より各監督も傷害保険に加入することになっております。従って各監督は保険料1,000円を本部に納入してください。

- (7) 参加申込について、所属名および氏名は日本体操協会に登録したものをを使用すること。

・所属団体名は正式名称(アルファベットの大きく・小さくを区別も明確に)を記載すること。

・氏名の漢字についても登録したものを確認のうえ記入すること。

### 13 審判は道連派遣とする。

### 14 全道選手権大会出場枠について

国体予選に参加した者は、全道選手権の出場権を与える。

### 15 その他

- (1) 音響設備は本部で道連PA(CD対応)を準備します。

- (2) アイロンは本部で準備します。

- (3) 宿泊は各自で手配してください。

- (4) 監督は役員をお願いすることがありますので、ご協力ください。

- (5) 大会期間中に発生した傷害については、その責任をスポーツ傷害保険の範囲とする。

なお、大会参加に際しては、万一の事故の発生に備えて傷害保険や賠償保険に加入しておくなど、万全の事故対策を講じておくこと。

- (6) 申告書は提出不要。

この事業は、競輪の補助を受けて実施しています。

競輪の補助事業

